

期末考査の勉強は順調にすすんでいますか

3者面談を進めていく中で、「ケアレスミスで点数が伸びなかった」と話す人が複数いました。せっかく勉強をしたのに、ちょっとしたミスで点数を落とすのは悲しいことです。そこで今回は、自分の力を100%発揮する「テストの受け方」を紹介します。定期考査は日常の授業にどれだけ真剣に取り組み、それを理解しているかを確認するためのものですが、受験生として闘うための基礎知識をどれだけ修得しているかを確認することにもなるので、決して手を抜かずに万全の準備をしてテストに臨んでほしいと思います。学校の成績だけで今後の進路が決定するわけではありませんが、いい順位のほうが自分も嬉しいし、保護者の方も喜ぶますね。

掲示板には目安として国公立やGMARCHを目指すなら学年で50位以内、成成明学獨國武を目指すなら100位以内、日東駒専を目指すなら150位以内を目標にすること、と掲示しましたが、57期生みんなが努力を重ねていけばGMARCHを目指すなら100位以内とすることも可能です。

まだ明確な目標を設定することができていない人も多いと思いますが、「〇〇大学を志望校にするぞ」と思った時に基礎学力が十分に備わっているように1年次から「まこと」の精神で授業やテストに臨んでいこう。ま…まじめに こ…こつこつと と…ともに学ぶ

自分の力を100%発揮する「テストの受け方」

テストも大切な勉強です。「テスト時間中の3箇条」は必ず実行してください。これは2年後に迎える大学受験にも役立ちます。重要なことは、この「テストの受け方」を習慣化させることです。

自分の力を100%発揮する「テストの受け方」

1 テスト時間中の3箇条

(1) 設問を正しく読む！

不正解の原因の多くは、設問の読み違いにあります。設問にヒントがあるのです。設問こそ、最高に集中して、確実に読み取ることが大切です。

(2) 根拠をもって答える！

当てずっぽうに解答する習慣のある人は、絶対に成績はよくなりません。答えの根拠を自分に言い聞かせて解答を書こう。

(3) 見直す！

ケアレスミスをなくすためにも、余った時間で見直しの習慣をつけること。そして、見直しながら理解を深め、覚えてしまう。

2 テスト後

(1) 正解を確認して復習する

特に分からなかったところは必ずできるようにする。模擬試験などは解答と解説がしっかりしているので、絶対に解説は熟読することです。

(2) テストの内容を全部できるようにする(定着させる)

基本的にテストには重要なところが出ます。ですから、テストの内容を全部できるようにすることが大切です。出題形式を分析することにより、次のテスト勉強で何を勉強すればいいかをつかむことができるし、定期テストは受験勉強にも役立ちます。そして、一度解いた問題は必ず次はできるようにすること。このような気構えでテストに应付すれば、テストは無駄になりません。

